

ライスアイランド

R.I.

weekly

レポート

～シリアル・ルネッサンス～ <http://www.riceisland.co.jp>

ライスアイランドの16年産雑穀栽培委託産地の状況を報告いたします。日本へ上陸した台風過去最多を記録した年でした。台風の影響を受けた日本海側の米産地では、塩害により米収量が1～2割減少しています。雑穀の作柄も、風と雨により予想より平均で2～4割の減収と報告を受けています。

RIの16年の雑穀作付け面積合計は126ha以上に拡大！

RIでは雑穀の産地開拓を始めて3年目になります。現在、北海道から九州までの10ヶ所で雑穀栽培に取り組んでもらっています。1年目30ha。2年目70haと年々増えてまいりました。今年は126haの作付けを計画しています。今年は、天候の影響を受けて、雨による湿害、風による倒伏、穂の脱粒の被害などで、予想収量まで届かなかった状況です。台風が通過したところの蕎麦の産地でも、きびを栽培しており、風害で4割の減収と報告がありました。

	きび	あわ	はと麦
北海道地区	32ha	0.7ha	
東北地区	23ha	8 ha	23ha
関東地区	15ha	10ha	3ha
東海地区		0.3ha	
九州地区	11ha		
計	81ha	19ha	26ha

今年は、あわの栽培も取り組み、はと麦の産地開拓を行ないました。以前のRIレポートでご案内いたしました機械化系も生産者の積極的なチャレンジにより、順調に進んでおります。今年の課題は、刈り取り後の雑穀の乾燥です。

昨年までは、天日乾燥で、人力で行なっていましたが、今年は、専用の乾燥機でおこないます。

収穫前に産地を訪問し、現場の声を聞いてきました。ライスアイランドの雑穀委託先では、1度2度の失敗にはめげずに挑戦しつづけているチャレンジ精神あふれる方ばかりで、大変心強いことと感じています。全体的には、減収でしたが、作付け面積拡大で昨年より合計収穫量は増えました。今後も課題をクリアーして、国産雑穀生産拡大のご要望にお応えできる体制づくりをいたします。

<きびは、そばより、台風(強風)に強い！> 北海道の中山さん談

台風18号の強風の影響で、蕎麦の実が飛ばされてしまい、蕎麦は95%の減収になってしまいました。きびは、40%くらいの減収でした。水田転作作物として蕎麦を作っていますが、きびも有効だと思いました。

<きび、あわは雨(湿害)に弱い！> 岩手の小原さん談

播種してから、丈が20～30cmくらいになるまでに、雨が続きたり、豪雨にあうと、水田からの転作の畑だと、排水が悪いので、きび、あわは湿害の影響を受けて、枯れてしまいます。90%の減収です。湿害対策として、来年は、圃場中に暗渠(アンキョ:水田の下部に筒状の土器)を埋めこんだり、プラウ(深く耕す耕運機)で、土状を掘り起こし、水分の通りを良くしようと思っています。

<あわにヨトウ虫がついて7割壊滅>

茨城の栗野さん談あわは、農薬取締法の登録農薬がありません。

ヨトウ虫は、トウモロコシに良くつきます。トウモロコシにはヨトウ虫防除の登録農薬がありますので、対策できますが、あわは出来ない状態です。葉っぱはほとんど食べられ、実になる前に、枯れてしまいました。何か予防対策はないものかと思案中です。

「**素食生活 まぜ炊き 五種雑穀米 100g**」パッケージ違いのお詫び

平成16年9月17日～24日製造分に、パッケージ違いの商品が少量混入して出荷されたことが確認されました。

「**素食生活 まぜ炊き 黒米 100g**」のパッケージが混入し、そのまま製造ラインに流れてしまい、パッケージと品種が違う商品となり出荷されました。上記期間の製造分の商品が出荷されたお客様へはご連絡差し上げ、対策もさせていただきます。このような事態を引き起こしたことで大変なご迷惑をお掛けしますことを深くお詫び申し上げます。なお、調査結果と対策につきましては、再度RIレポートにてご報告させていただきます。

◆来週のRIレポートは11/1お届けです